

「住民記録システム等改修業務(マイグレーション関連対応等)」の仕様書に関する質問及び回答

令和4年(2022年)3月16日
札幌市総務局情報システム部

項番	質問内容	回答
1	<p>・マイグレーション特別対応のビルド環境について(別紙1_マイグレーション特別対応タスク詳細.xlsx)</p> <p>マイグレーション特別対応のビルド環境ですが、自社環境に“●”がついていますが、札幌市さま環境の次期インフラ開発環境を利用して実施しても問題ないでしょうか。</p>	<p>基本的には自社環境での構築が原則となりますが、札幌市次期インフラ開発環境(Jenkins実行環境)にてビルドすることは可能です。</p> <p>一方で他業務も共用でビルドする環境となり、テスト中の非正規モジュールがインストールされる可能性があるため、自社環境にて構築いただくことをご推奨いたします。</p>
2	<p>・マイグレーション特別対応のテスト実施環境について(別紙1_マイグレーション特別対応タスク詳細.xlsx)</p> <p>マイグレーション特別対応で修正したソースコードの単体テストの環境についてお伺いいたします。</p> <p>後工程の劣化検出テストやジョブ走行テストから漏れるソースコードにおいての単体テストの実施は、自社環境に“●”がついていますが、こちらは札幌市さま環境の保守環境(現行/次期)を利用して実施しても問題ないでしょうか。</p>	<p>「単体テスト」が画面打鍵等を指しているのでしたら保守環境をご利用いただいて問題ございません。</p> <p>なお、テストコードをベースとした単体(自動)テストは札幌市次期インフラ開発環境(Jenkins実行環境)を利用していただくことを想定しております。</p>